



洗 心

～日々新しく～



ここは古熊谷。30℃を超える暑さにもかかわらず、谷あいを流れる小川は、冷たく、美しく澄んでいました。絶滅が心配される生き物や植物などに配慮し、水路や田んぼが保全されています。井上さんの案内で、子どもたちは、ハッチョウトンボやカワモズクなど、希少な動植物を見つけることができました。

これ以前に、八田の井上さんの田んぼを訪ね、ビオトープでの自然観察や田植え、コウノトリの観察や名付けなど、貴重な体験をさせていただきました。それだけで十分によい学びとなりましたが、体験に終わることなく、子どもたちは宮崎地区の自然環境にかかわる課題を見つけ、調べ、考え、伝えることを通して、より深く学んでいるようにしています。

地域の方が、このような子どもたちの学びを応援してくださること、そして子どもたちと共に活動することを楽しみとしてくださることを本当にありがたく思います。



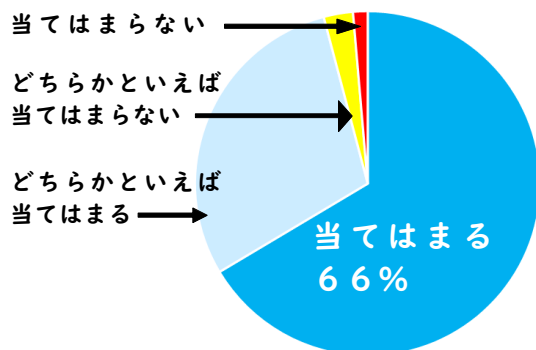
学校教育目標「自ら学ぶ 共につくる」に向けて

1 主体的な学びづくり 2 創造的な学びづくり 3 成長を支える環境づくり

の三つを重点目標に、教育活動に取り組んでいます。今回は、1学期のアンケート結果をお知らせします。これを職員で分析して「中間まとめ」を作成し、学校関係者評価委員のみなさまのご意見をうかがいます。

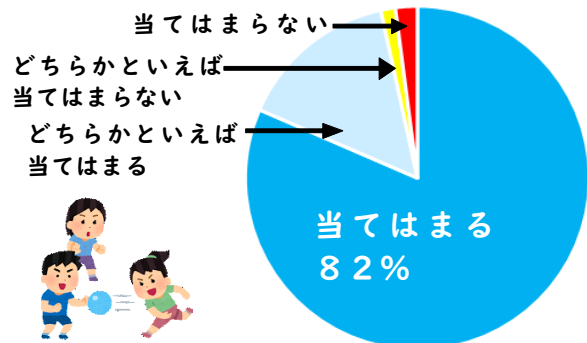
児童は、それぞれの質問に、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」の4つの選択肢から選んで答えています。いずれも60%以上になることを目標としています。

学校が楽しい？



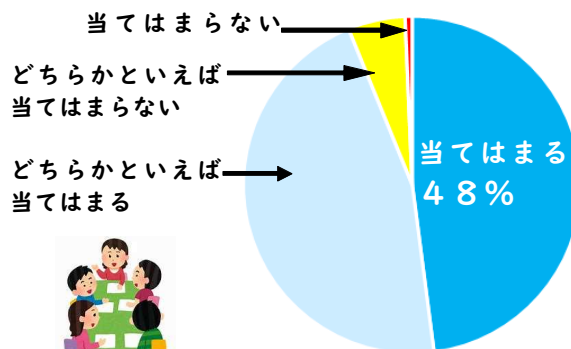
目標を上回りました。試行錯誤しながら、児童が主体となって創りあげる活動を大切にし、教職員はサポートに徹するようになってきました。たてわり班やペア学年での交流活動も進めました。その効果かもしれません。

みんなで何かをするのは楽しい？



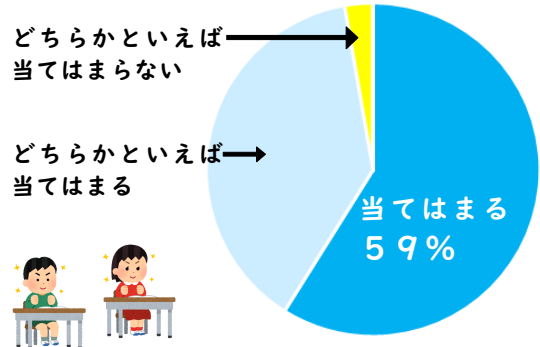
目標を大きく上回りました。体育大会では、児童のアイディアで種目や作戦を話し合って決めたり、振り返りをもとに改善をくりかえしたりしました。「によきによき宮崎っ子プロジェクト」も児童のアイディアで進化しています。

授業に主体的に取り組んでいる？



肯定的な回答は9割を超えますが、目標値を下回りました。子どもたちと共に課題を設定し、学んだことをさまざまな形でアウトプットするなど、主体性を引き出し、達成感が味わえるようにしながら、学びの充実をめざします。

授業がよくわかる？



惜しくも目標値に届きませんでした。「当てはまらない」と答えた児童はいません。

全国学力・学習状況調査では、3教科とも高い正答率が出ています。これまでの授業改善の取組に自信を持ち、教職員の学び合いを通して、授業の充実に努めます。